水稲（コシヒカリ）有機栽培暦（冬期湛水）

	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	1月 中	1月 下	2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下
水管理	15cm																																						
	10cm																											12cm程度を維持する											
	5cm																																						
作業内容	収穫 本田除草⑤ 耕耘						湛水開始	（雪の下でも湛水と同じ効果あり）											種子選別			種子消毒 浸種 耕耘 播種 育苗 → 代かき①			→ → → 施肥 代かき② 移植 本田除草①			本田除草② 畦畔除草 本田除草③			畦畔除草 幼穂形成期追肥 畦畔除草			出穂期 本田除草④			収穫 本田除草⑤ 耕耘		
管理の要点	米ぬかまたは発酵鶏ふんを施用し、稲わらをすき込む 刈り取り後雑草が多い場合には手取除草を行い圃場から持ち出す						代かきして湛水開始（5cm程度の湛水を維持する）												塩水選により良い種子を選別する （3月は水が蒸発してなくなりやすいので水を絶やさないこと）			60℃10分間、温湯浸漬後直ちに流水で冷却する 褐条病が多い場合は催芽時に食酢処理を行う 播種量 乾もみ80g／箱			粘土質土壌では田面が露出した状態になるくらいの浅水、砂質土壌ではやや深めの水深（プール育苗により病害を抑える）			有機アグレット674号55kg／10a 粘土質土壌では田面が露出した状態になるくらいの浅水、砂質土壌ではやや深めの水深			除草機による本田除草 移植当日か翌日に米ぬかペレット 80kg／10a散布 1株3～4本・坪50～60株植え			除草機による本田除草 12cm程度の湛水を続ける 濁り水状態が望ましい			除草機による本田除草 湧きが著しい場合は短時間落水して水を入れ換える			出穂の10日前までに行う ①有機アグレット727 ②有機アグレット727 水温が30℃以上に上った場合には水を入れ換える 最高茎数は15～20本／株とする			出穂しているノビエを見たら手取除草を行う 穂数は15本／株程度が望ましい			米ぬかまたは発酵鶏ふんを施用し、稲わらをすき込む 刈り取り後雑草が多い場合には手取除草を行い圃場から持ち出す		
その他	9月下旬～11月 赤トンボが田んぼで産卵 									12月～4月 赤トンボ 卵で越冬									山際の水田ではアカガエルの産卵が見られる。			トロトロ層が形成されていることを確認			赤トンボの卵が湛水中の田んぼで孵化 水中で赤トンボのヤゴが成長			カメムシ類の本田進入を防ぐためにも早めに除草			赤トンボが羽化して成虫に 								

水稲（コシヒカリ）有機栽培暦（緑肥利用）

	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	1月 中	1月 下	2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下
水管理	15cm																											12cm程度を維持する											
	10cm																																						
	5cm																																						
作業内容	本田除草⑤ 収穫		耕耘	緑肥播種			排水対策									排水対策			種子選別			浸種 種子消毒	播種	育苗→	→→→→→	耕耘	入水 代かき	移植	本田除草①	畦畔除草 本田除草②	本田除草③	畦畔除草	幼穂形成期追肥	畦畔除草	出穂期	本田除草④		本田除草⑤ 収穫	耕耘
管理の要点			稲わらの鋤込み 刈り取り後雑草が多い場合には手取除草を行い圃場から持ち出す	稲わらの鋤込み。冬期間水が溜まらないように排水対策を実施 品種名：ヘアリベッチ　播種量5kg／10a レンゲ草　播種量3～4kg／10a クリムソンクローバ　播種量3～4kg／10a			圃場の排水を促すため排水路に溜まった土を除去する								圃場の排水を促すため排水路に溜まった土を除去する			塩水選により良い種子を選別する			60℃10分間、温湯浸漬後直ちに流水で冷却 褐条病が多い場合は催芽時に食酢処理を行う 播種量　乾籾80g／箱 （プール育苗により病害を抑える）			←→ 緑肥を鋤きこむため低速で耕耘する。 耕耘から入水までは10日以上空ける 代かき4・5日前に入水 浅水にして代かき 1株3～4本・坪50～60株植　代かき2・3日後に田植え			除草機による本田除草 12cm程度の湛水を続ける　濁り水状態が望ましい 除草機による本田除草		除草機による本田除草 湧きが著しい場合は短時間落水して水を入れ換える 除草機による本田除草		基本的に施肥しない 水温が30℃以上に上った場合には水を入れ換える 最高茎数は15～20本／株とする		出穂の10日前までに行う		穂数は15本／株程度が望ましい		出穂しているノビエを見たら手取除草を行う		
その他																												早めに除草する 進入を防ぐためにもカメムシ類の本田											